

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の検証について

1 地方創生推進タイプについて

(1) 対象事業

地方版総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業

(2) 活用状況

令和6年度においては9事業について計3億5,712万円を活用。

(3) 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

《全体の状況》

	指標値を 達成	概ね順調に 推移	更なる取組みが 必要	策定時を 下回る	合計
項目数	17 項目 (65.4%)	2 項目 (7.7%)	7 項目 (26.9%)	0 項目 (0.0%)	26 項目 (100.0%)

※KPIは32項目設定しているが、統計値未発表の6項目については除いて集計

《各事業の評価》

KPIについて、更なる取組みが必要な項目があるものの、各対象事業の実施により「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の推進が図られた。なお、継続事業については、KPIの進捗状況を踏まえて適宜事業内容を見直ししながら、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

2 地方創生拠点整備タイプについて

(1) 対象事業

地方版総合戦略に基づく、地方創生の推進に資する施設の整備等を行う事業

(2) 活用状況

令和4年度※は1事業について2,581万円を活用し、令和5年度※においては3事業について2億3,907万円を活用。令和6年度においては活用実績なし。

※ 地域再生計画期間内（原則5年間）の効果検証が必要

(3) 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

KPIは11項目設定しているが、8項目は統計値が未発表、3項目は施策効果の発現が今後となる。

《各事業の評価》

KPIについて、事業効果の発現が今後になるが、各事業において、「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の推進に寄与することが期待できる。整備した施設を活用し、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

【参考】

デジタル田園都市国家構想交付金制度要綱第12の規定により、当該事業に関する毎年度の達成状況等について検証・評価するに当たり、学識経験者等の第三者の意見を求めるよう努めることとされていることから、本県では山形県総合政策審議会において検証・評価することとしている。

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業のKPI一覧

1 地方創生推進タイプ活用事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR6事業終了時 までの増加分(累計)		進捗 状況
				目標値	実績値	
1	がん地域医療次世代モデル構築推進事業 (R3～R7年度)	国立がん研究センターや慶應先端研と連携したメタボローム解析技術を用いた研究の事業化の推進や、連携研究拠点の認知度向上による高度人材の集積、交流人口拡大の推進	支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数(商品)	5	統計値 未発表	—
			支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数(人)	12	統計値 未発表	—
			次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数(件)	900	1,420	達成
			県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数(件)	4	3	更なる 取組み が必要
2	次世代産業への参入促進による付加価値向上事業 (R4～R6年度)	成長分野への新規参入支援等による企業の付加価値向上の促進や、本県が先導的に取り組んできた分野における研究シーズの活用による製品・事業の高付加価値化等により、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成	本事業を通して新たに成立した商談の件数(件)	39	169	達成
			本事業を通して自動車・医療・福祉等の成長期待分野に新たに参入する県内企業数(社)	16	22	達成
			本事業を通して新たにAIを導入する企業数(社)	10	10	達成
3	山形の宝である多彩な環境・文化資産の活用による持続可能な観光地域づくり推進事業 (R4～R6年度)	本県の特徴ある地域資源等を活かし、魅力ある地域づくりを推進し地域の活性化を促すとともに、地域の多様な資産を保全・活用・継承していく取組みや、郷土愛の醸成等の取組みを通して、地元が主体性をもった持続可能な地域づくりの推進	蔵王を取り巻く地域(山形市、上市市、天童市)の観光消費額単価(円)	11,980	37,628	達成
			県内主要温泉観光地の観光者数(千人)	5,050.0	統計値 未発表	—
			やまがた景観物語「おすすめビューポイント」来訪者数(千人)	30.0	43.0	達成
			地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒(小学生)の割合(%)	4.3	統計値 未発表	—
4	人材・産業・地域のグローバル化推進事業 (R4～R6年度)	外国人留学生の受入拡大・県内定着促進や、県内企業における外国人材の受入促進、若者や企業の経営者等が国内外と新たに交流する機会の創出等の取組みを通じた、人材・産業・地域のグローバル化の推進	本事業を通じて増加した外国人留学生のうち卒業生の県内就職率(%)	16.89	0	更なる 取組み が必要
			本事業を通じて増加した外国人留学生の県内受入数(人)	113	41	更なる 取組み が必要
			本事業を通じて増加した海外取引を行う県内企業の数(社)	56	統計値 未発表	—
			サミット参加者数(人)	360	335	概ね順調
5	地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト (R6～R8年度)	地域等と都市部企業等との協働事業への支援等を通して、関係人口など、地域内外を問わない多様な主体を新たな地域の担い手として確保する仕組みを構築するとともに、関係人口を受け入れる地域の体制の強化を図ることによる、関係人口等の創出・拡大の推進	山形県へのUIターン者数(県移住相談窓口を通じて移住した人数)(人)	16	65	達成
			事業により創出した関係人口数(人)	131	152	達成
			事業により創出した交流人口数(人)	7,178	7,766	達成
			事業により関係人口を受け入れる体制が整った地域・団体等数(地域・団体等)	72	125	達成

6	イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による地域産業の競争力強化事業 (R6～R8年度)	ものづくり産業における創業・事業化支援によるイノベーションの創出、県内企業の競争力強化に向けたDX推進、新たなデジタル技術を核とした人材育成・ビジネス創出及び県産品のブランド力を強化する取組みを通じた、県内産業における生産性向上や高付加価値化の推進	山形県における新規雇用者数(人)	15	7	更なる取組みが必要
			一人当たりの県民所得(千円)	80	統計値未発表	—
			本事業を通して新たにDX認定事業者に認定された県内企業数(社)	4	5	達成
			物産展開催会場総数(件)	1	3	達成
7	プロフェッショナル人材の活用による中小企業成長実現事業 (R5～R9年度)	地域企業の企業力を高めるプロフェッショナル人材のマッチング支援	地域企業に対するプロフェッショナル人材マッチング件数(件)	140	163	達成
			地域企業の経営課題に関する相談件数(件)	450	472	達成
			マッチング件数のうちデジタル化推進に資する件数(件)	14	26	達成
8	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・地方就職学生支援事業、山形県地域課題解決型創業支援事業 (R5～R9年度)	東京圏からの移住並びに本県産業への就業及び起業を後押しするための移住支援金の支給、本県産業と就業者とのマッチング支援、東京圏の学生の本県への移住・就職を促進するための支援金の支給 地域課題解決型の社会的事業分野における起業家に対する起業支援金の支給	本移住支援事業に基づく移住者数(人)	342	216	更なる取組みが必要
			本起業支援事業に基づく起業家数(人)	8	0	更なる取組みが必要
			マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	430	307	更なる取組みが必要
			本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数(世帯)	40	39	概ね順調
9	女性・高齢者・障がい者向け新規就業・デジタル就業支援事業 (R5～R9年度)	デジタル技術の活用促進を図りつつ、女性、高齢者、障がい者の新規就業者の掘り起こし、職場環境の改善、マッチング、伴走支援を一体的に実施	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)	800	1,954	達成
			デジタル技術の習得や仕事への活用促進の支援に関する取組みにより、デジタル技術を仕事に活用している者の数(デジタル活用者数)(人)	60	327	達成

2 地方創生拠点整備タイプ活用事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始からR6事業終了時 までの増加分(累計)		進捗 状況
				目標値	実績値	
1	東北農林専門職大学(仮称)を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備計画(第1次事業) (R5.3完成)	園芸農業(果樹)を成長産業化させるため、ICT技術を活用した気候変動対応型農業の技術開発に関する拠点施設を整備	施設整備によって向上した技術により増加した産出額(さくらんぼ)(百万円)	400.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって向上した技術により増加した農業者一人当たりの産出額(万円)	30.00	統計値 未発表	—
2	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画 (R6.3完成)	農業分野における課題である大規模化に対応し、省力化、多収、高品質化を実現するため、リモートセンシングや生育環境モニタリング装置等を備えた施設を整備	設備投資によって向上した技術により増加した産出額(米)(億円)	8.00	統計値 未発表	—
			設備投資によって向上した技術により増加した産出額(野菜)(億円)	3.00	統計値 未発表	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	0	0 (効果の発現が今後)	—
3	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画 (R6.3完成)	畜産分野における課題である大規模化、省力化、高品質化を実現するため、牛群管理システムや分娩監視装置等の様々なデジタル機器を備えた施設を整備	施設整備によって開発した技術により増加した産出額(畜産)(億円)	15.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって開発した技術により増加した農業者一人当たりの肉用牛産出額(万円)	99.00	統計値 未発表	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	0	0 (効果の発現が今後)	—
4	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画 (R6.3完成)	利用期を迎える森林資源の適正な維持管理や利活用を拡大するため、リモートセンシングや森林資源情報の収集・解析に必要な設備・施設を整備	施設整備によって確立された手法により増加した県産木材供給量(m³)	4.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって確立された手法により増加した林業産出額(億円)	3.00	統計値 未発表	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	0	0 (効果の発現が今後)	—